

大学名等	山形大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	がん口腔支持療法コース（インテンシブコース）（テーマ②）
対象職種・分野	医師、歯科医師、看護師、薬剤師
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	がん治療に関する基盤的知識を有し、がん治療主治医と十分な連携を構築しつつ、がん患者（希少癌、難治癌、遺伝性腫瘍等を含む）に対して充分ながん口腔支持療法を理解し、現場における口腔支持療法を指導・実践できるばかりでなく、各ライフステージに合わせた指導と診療を行うことができる開業歯科医師および歯科衛生士を養成する。
修了要件・履修方法	履修者は、医学系研究科医学専攻に設置される「がん口腔支持療法コース」で開講される講義、実習を科目等履修生として履修する。また、必要に応じ、個別化医療推進に向けた腫瘍専門医育成コースの講義を聴講する。単位認定は授業科目ごとに行い、取得単位に対して履修証明を与える。
履修科目等	・講義（1単位）「臨床腫瘍特論Ⅰ・Ⅱ」、「臓器別臨床腫瘍学特論」、「次世代腫瘍予防学特論」、中特に口腔支持療法と関連の深い指定の講義から、最低15講義を履修 - がん患者の口腔支持療法と歯科治療に関する実践的講義 ・実習（1単位）手術室実習（手術の見学）病棟実習（処置見学、カンファランスへの参加等） 外来実習（処置見学、口腔ケア実践、カンファランスへの参加等） ・必要に応じて、個別化医療推進に向けた腫瘍専門医育成コースの講義を聴講する。
がんに関する専門資格との連携	口腔ケア学会認定口腔ケア指導医
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	これまで心臓血管外科や呼吸器外科、消化器外科の患者が主な口腔支持療法の対象者であったが、口腔支持療法を受ける患者は当院の周術期管理センターを経由することになっている。即ち、ほぼ全ての疾患の口腔支持療法の現場を経験することができ、これまで限局的であった疾患の幅を広げ、知識の整理をはかることができる。また受講者が受講しやすい曜日や時間帯を最大限に考慮した受講環境を準備する。
指導体制	山形大学医学部歯科口腔・形成外科学講座の教室員4名（教授・講師・助教）が中心となり、さらに歯科口腔外科外来歯科衛生士・歯科技工士・看護師および関連医療施設等の歯科医師らによる指導体制を整備する。
修了者の進路・キャリアパス	山形県内のがん拠点病院および山形大学医学部附属病院歯科口腔外科との緊密な連携のもとに、幅広い世代のがん患者の口腔管理、口腔衛生指導、食事指導を実施する。また、これらを通して日本口腔ケア学会認定の口腔ケア指導者の資格取得を目指す。